

子どもの貧困問題を考えるシンポジウムアンケート

2018年3月24日午後4-6 あいくるにて

- 1、 貧困家庭は原因はいろいろあっても、子どもには罪はないと思うので助けたい。しかし「貧困」という言葉を使う事や「子ども食堂」も名前が動き出しているのでまずはいろいろな形で多くの方たちが、集まる場所を居場所として必要では。子どもに関する学支援を広げて、自然に学習のみならず多くの方がかかるとよいのでは。
- 2、 アンビシャスネットワークの田中さんのお話は、何度聞いてもためになります。ありがとうございます。
- 3、 次回も案内をください。自分の周りで考えていきたい。
- 4、 協力するには初めの一步で、私が何をすればいいのか考えています。私も母子家庭で子どもを育てました。
- 5、 居場所支援と学習支援は別に考えないと思います。学習支援は生活保護家庭の中3だけでなく、もう少し早い時期から広く支援できればと思う。
- 6、 支援のむずかしさがよくわかった。小さな積み上げで成果が出ていることがわかった。野菜の提供は少しはできると思う。
- 7、 初めて話を聞き自分も勉強になりました。いろいろ不安ですけど、協力していきたいと思っています。子どもたちが「子ども食堂」に来てくれるかな？
- 8、 なにを協力すればいいのかわからないけど気持ちはあります。貧困にあえぐのは子供だけではなく高齢者も苦勞しています。
- 9、 新聞で田中さんの活動を読んで興味を持つようになりました。実際にお話を聞くことができて良かったです。具体的で大変わかりやすかったです。現在のところは自分の仕事だけで手いっぱいなので協力は難しいです。今回のような機会があれば積極的に参加したいと思っています。事業を継続するために、若い世代を巻き込める仕組みが必要だと感じます。若者がこういうお話を聞く機会をつくってほしいです。
- 10、 貧困の人たちが、この時代にいるのかと本当に悲しいです。この世の中貧困の人たちを吸いたいです。

11名の回答者のうち8名が「よかった」と回答。他は無記載でした。